

## 小学校適正配置（学校の存続・統廃合）アンケート調査 意見（行政区別）

### 貝沢区

- ・何事も町の中心部に集中させるのではなく、町の将来性を考えるなら、バランスの取れた方向に進んでもらいたい。それが統合賛成の条件である。
- ・同じ保育所に通っていた子供たちなのになぜわかれなければならないのか。それも10人足らずと超少人数の学校へ・・・少ない人数のメリットはそれなりにあるようだが、お金、地域の交流、その他学習内容などでトータル的に見れば親の負担はかなり厳しくなると思う。教育業界もどこも財政難なのだからもう少し規模を縮小してやっていけばいいのでは？どうせ中学校にあがれば沢内地区では一校にまとまるのだから、わざわざ4校と細かく分かれていなくてもいいと思う。せっかく合併もしたことだし、沢内地区2校で十分だと思う。
- ・統廃合する場合単に児童数の人数で校舎の移転を決めるのではなく、通学の便や全体的な視野に入れた考えの中で子供たちに最も良い校舎の適正な配置を検討してもらいたい。
- ・沢内地区の中心地に配置が適正と思われる。湯田地区においても同様の配置が望ましいと思います。今教育現場に求められている事、教育の内容の充実が求められており地域格差是非が不可欠である。
- ・コストの面で大変なこともあるが町中央部への一局集中は地域格差を生じさせる。公共施設の平等配置がなされるべき
- ・いつになったらわからない。私たち80歳70歳の年寄りであります。
- ・子供の人数が毎年減ってはいるようですが子供たちやご両親の負担のないように今のまま全部の学校をずっと残しておいてほしい。結婚して若い人たちも親になったときに学校が近いくないということになると老人たちばかりになり若い人が誰もいないということにもなります。孫ができたとき安心して通学できるようどこの学校にも行けるようにしてほしいです。
- ・貝沢小学校残してほしいです。よろしくおねがいします。
- ・地域に小学校がなくなることは大変な事です。どんどん地域が衰退します。だからこのままでいいと思います。
- ・できたら統合してほしいけど無理かもね。
- ・地区の小学校が統合されるのは残念だが統合はやむをえないことだと感じている。それぞれの学校のよさが残され、さらに良い学校になることを強く望んでいる。未来ある子供たちのために。
- ・何が子供たちにとって最もよいのかを優先に考えてほしい。
- ・定まったカリキュラムをこなそうとしたり、都市の小学校と同じようにと望むと教員の配置を多くしなければならないのでは？小学生のうちは興味を持つことを伸ばしてあげられるような対応ができればいいのではないか。あとは勉強することに対する興味とか必要性とかを理解させ目標を持ったときに夢中になって取り組むことができるように育てたいのでは？それには親の理解、コンセンサスを一致しておく必要がありますが。そんな面倒なことをして余裕もなくなっている状態でしょうか。

- ・ 沢内地区に4校小学校がありますが、生徒一人ひとりの意見を考えてみるときっと「自分のいる小学校がなくなるのはやだ」という気持ちがあるとおもいます。それに私もそうですがそれぞれの小学校を卒業してきたかたは自分の母校がなくなるというのは取っでもいやなことだと思います。だから統廃合は『必要ない』と思います。
- ・ 地区として残してもらいたい
- ・ 子供の数は年々減っているのは知ってますが近くに学校があった方が親としては安心な気がします。統廃合するにしても中心集中は考えてほしいと思います。
- ・ 母校がなくなるのは忍びないのですが、集団生活の中の人間形成などの必要性があると思います。あとは、人件費などの削減した分、目に見えるだけの教育充実と住民のために使ってほしいと思います。
- ・ 年々貝沢小学校の児童数が減ってきているので、いずれ川舟小学校と統合してもいいと思います。
- ・ スクールバスに乗って学校に行った方が安全だと思います。1・2年は特に小さい子供だから危険であると思うので統合してバスで通学した方が良いと思います。
- ・ 貝沢小学校はいつまでも残して行きたい。統合となると貝沢に子供も見られなくなるし学校にしても、なんの建物にしても中央だけに持っていき、貝沢のはじっこは何のメリットもなくいつだってさびしく感じる。学校があることによって、貝沢もなんとか盛り上がってます。上の考えはなんでもみな統合してやればよいと考えているのか、もう少し町民の事をかんがえてください。
- ・ 最初に結論ありきの議論は意味がない。条件闘争になってしまい方向がちがってしまうのではないか。地域にとって学校は活性化の核であり子供の存在が将来に向けての希望である。統廃合すると地域が子供にとって寝に帰るだけの場所になってしまうことを危惧する。経済優先では弱者切捨てになってしまうのではないか。学力向上も課題としてあるとは思いますが平均以上であればまったく問題ないと思うし、もっと大事なことを学べるのも今の学校だと思う。
- ・ 廃校となる学校を公的施設とする。公民館とする。児童館など福祉施設など。
- ・ 少人数制の良さを見直すべきだとかんがえる。
- ・ 各校の人数が少なく、何をするにもできる範囲が狭まることやできないこともあります。少人数だから良いことも沢山あると思います。統合すると学区の範囲が広くなり通学にも長時間かけなければならなくなり、児童への負担もかかると思う。学校の方でも、人数が増えると目の届かない死角ができて今、騒がれている問題もでてくると思います。学年が縦につながるところも良いところだと思っているのでつながりが薄くなるのも問題があると思う。
- ・ 統合は止むをえないと思いますが、少子高齢化を逆に人口の増える町作りを真剣に検討することが大事、多くの若者の働ける職場作りを皆で考え実行してほしいです。昔の寺子屋教育から偉大な人材が生まれています。大規模が必ずしも良いとはいえない1人1人の能力を十分に引き出せない面がある。貝沢小は学力、体育共に岩手県下で中の上だと聞いたことがあります。だとすれば小規模校の利点を十分生かしたことになります。

貝沢小の児童は沢中に進学しても学力、体育共により成績をあげて居るようです川舟小も同様のようです。小国民の育成に教育費をおしんではいけないと思います。小学生の遠距離通学には案じられる面があると思います。

## 若畑区

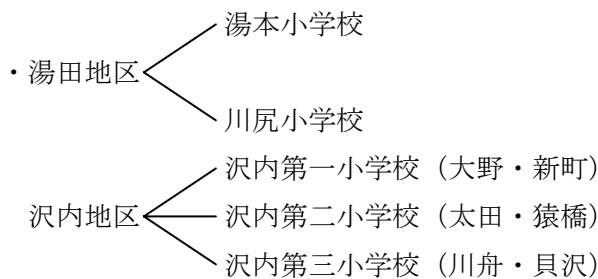
- ・地区に一校では競争する相手が不在となる。沢内地区は新町、川舟。湯田地区は湯本、川尻。
- ・現状のままではいけないと思いますが、この表を見ればそれも無理だと思います。せめて沢内1校、湯田1校にしてもらいたいと思う。
- ・地域から学校がなくなるのは寂しいが子供たちのことを考えると・・・
- ・子供のために少人数より、多くの子供たちの中で勉強させたい。
- ・地域に学校がなくなるのは寂しいことだが、同級生の少ない子供たちはもっとかわいそうです。また、中学校も西和賀町で1校とすることも必要だと思います。
- ・スクールバス等による通学の安全確保の充実。
- ・昔のことを申し上げるようですが、地域に学校が消えていくのは誰でもさびしいものと思います。必要に〇をしましたが、本当なら少人数の学校でも集まってみんなで親子も楽しむことが大切ではないか。
- ・利点の中に「一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が出来る」とありますが、それは先生にもよるのではいでしょうか。クラス通信でも何人もいないのにいつも決まった子の名前をあげ、ほめるのはいいのですが、いちいち名前をあげなくてもいいし、宿題にしても低学年からの一人勉強ばかり、やり方がまだわからないのに・・・目が届くのならもっとやり方の指導もしてほしい。やはり、複式でないほうがいいですね。
- ・小・中・高一貫教育を目指す。
- ・川舟地区では保育所は貝沢地区の子供たちも一緒だし、中学校では全て一緒になるので統合は必要と感じる。スクールバス体制も確立されているので通学の心配はないものと思われる。
- ・合併して一年を迎え町がどのような方向に行くか先が見えないように感じ、嫁不足から結婚できない人が多く、少子化がどんどん進んで、このままでは統廃合はやむをえないと思います。時期とかはいつごろが良いかはわかりませんが、子供の声が聞こえないことはとても寂しく残念です。
- ・現在複式学級ですが学習面でも不安があります。単式で学べるように早く統合できるようにしてほしいです。
- ・児童数の減少から統合はやむをえないと思う。
- ・小学校は学校としてだけでなく地域住民の集う場でもあるので今のまま残しておいてもらいたい。統合等する場合は、学区の中心においてもらいたい。
- ・子供の安全性
- ・統合してしまうと近くの子供たちも遠くに感じ寂しくなるから（必要ない）
- ・難しい問題だと思う。子供が少なくなったとはいえ、学校は地域のシンボルであり、地域で子供を守ろうと団結する。何を基準とした適正なのかもっと皆で考えるべきだと思う。

- ・少子化が進む中で、学校の存続が難しくなるのではないかと思う。学校行事（運動会、発表会）など団体活動がとれなくなり、個人での活動が多くなる。子供にとって仲間とのふれあいが成長につながることもあると思う。地域にとって子供の姿を見ることがなくなるのは寂しさを感じるし、盛り上がりがなくなるのではないかと思う。私としては学校の存続を希望するが、子供の事を考えれば統合も必要になってくるかもしれない。

## 川舟区

- ・やはり年々児童数が減ってきている状況の中、統廃合はどうしても避けられない問題と思います。学校行事などで人数的にできない事が多くなるのでは子供達の将来を考えても必要なのではないでしょうか。社会的に格差教育が取出されている昨今、西和賀町も例外ではないと思います。町の財政の厳しい中でいろいろと大変なこともあるかもしれませんが、西和賀町の未来の為に良い方向へ進める様、町民として協力させてください。
- ・新町、猿橋、貝沢
- ・地域の行事等は小学校がある事によって意味のある地区活動が行われているのが現状であります。どんなに児童数が少なくなろうとも湯田、沢内の小学校は、今のままで良いと思う。  
※児童数が少なくなると言う事以前の問題として、町に若い人達が定住出来る様な、働く場所の確保（工場等）を行政の力で動いてほしい。現状は、若い人達の働く場所が少ない為に、他地区へ出て行ってるのが、人口の減少、児童の減少になっている理由です。行政問題として本腰を入れて取り組み対策を出せば、少しでも活性化になると思います。
- ・国から、都道府県、県から地域（市町村）への地方交付金やその他のものの援助等に、あてにできない現代ゆえに、町の財源に負担が少なくなる様、心苦しい感もしますが、一種の“リストラ”じゃないですが、各1校ずつにした方が良いと思います。色々な面で、節約（エネルギーと現金等）につながると思うし、それが今の時代の人々の暮らしが安らかになると思います。
- ・地域から学校が無くなることは非常に寂しいことですが、少子化に伴い統廃合はやむを得ません。スクールバスの登下校ですから不審者による拉致はないと思うから、その面はよいかもしれません。
- ・あまり急がず、十分な議論、住民の合意が必要。初めに統合ありでなく、現状の分析と将来のあるべき姿を十分に見通してほしい。
- ・私の考えは、湯田地区1校、沢内地区1校の考えです。そうした時、問題点としてバスの出発時間の事。学校が1校のときはバス時間をどうするのか、問題だと思えます。統廃合はさげられません。
- ・沢内地区・・・第一小と川舟小と2ヶ所  
川舟小に貝沢、川舟、猿橋の3校を統合
- ・総論賛成、各論反対が殆どの意見と思うが、子ども中心に考えれば、統合は必要だと思います。
- ・検討委員会の方針提案が無いままアンケートで住民に意見を求めるのはいかがなものか・・・！ 現状 ⇔ 合併後の対比だけで判断するのは危険では！合併（統合）は、高校存続も含めた観点から考えるべきではないでしょうか！（小、中、高）

- ・太平洋戦争前、更に明治以前のことを考えても日本の徳目教育には、平素の生活の中に（家族、友人、他社会内）の中にすでにそのような存在があった。特に戦争以前では、軍隊による好ましくない面も強力に含まれてはいたが、それ等を完全に取り去った内容にして、平易に一般化した、わかり易い言語を使ったものに修正した文書にした。教育勅語にかわるものがある、それを必要の都度できれば毎日学習の始める前に読む習慣をつければ児童生徒の成長には大いに役立つと思う。道徳にしろ学習（一般科目の）にしろ毎日の生活習慣の中で培われていくものであることは、大人は考え直さなければならないと考える。
- ・出生状態が良くわからないのですが少なくとも増加してないように思います。この先4・5年では統合の方向になるのかなにか、人口の増える対策がとられるのでしょうか、できるだけ統合することなく地区の行事などが学校を中心となっておこなえていけることがよいと思われれます。



私の考えの配置です。

- ・町の人口計画をチラシに入れてほしかった。「今、子供が少ない」からどうするでなく、「〇年ぐらいには〇人になるからこうする」から考えたい。もっといえば、増す計画を教育からも考える必要ある。学校をへらすかこのままかにいっしょうけんめいは意味がない。どうやって住む人、くらす人をふやすか。へった学校の子どもに協力する人をどうふやすかがギロンの中心のはず。
- ・統廃合もいずれは必要な時期が来るとしても、時間をかけて協議し、不公平の無い様にすべきだと思います。又、広範囲の統廃合は各自に通う事が出来なくなったり、学校単位で地域との交流や協力関係が難しくなったりと、様々な事で現在の様な地域と一体となった学校とは遠ざかってしまうと思います。
- ・とても難しい問題です。できれば今のままがよいのですが、子どもが少ない現状で、各小学校で1人や2人の生徒という状況になった時、その子どもがかわいそうな気がします。同級生が何人でもいる方がいいでしょうし、そのように考えれば、統廃合は致し方ないような気がします。現実的には、適正配置を考えなければならないと思いますが、子どもが増える地域づくりを真剣に考えていくことも重要だと思います。
- ・経費を話す事は子どもに対して悲しい事ですが、金が無い事はさげれない。経費を小さくするため各地域、校で良い方法を考えるべきでしょう。教育はより良い方法を検討すべき。
- ・地域に子どもの声が少なくなっている現状であり、学校がなくなるとますます、沈んだ地域になりかねないと不安になります。ゆえに、ぎりぎりまでは存続を希望します。
- ・小学校、中学校、高校3つを統合してまん中に1校を作る。
- ・西和賀1校は大変と思うが、湯田の例を見れば新築して廃校となっている。将来を見据

えて建設してほしい。

- ・時期については児童数を見ながら統廃合しても良いと思う。湯田地区、沢内地区にこだわらずに児童数を平均化し地区を決定しても良いと思われませんが、通学時間の問題、学区と行政区の関わりなどむずかしい点も多くあると思われま。
- ・沢内地区だけでしたら貝沢地区～新町地区からの中心が良いとも考えますが？又中学校（現）のそばも良いと思います。
- ・統廃合する事により歩いて通学する子ども達の姿を見る事が出来なくなるのが淋しい。時間に束縛（登校、下校のバス時間等）される事なく学校での生活を楽しんで頂きたい。子どもは地域みんなの目があり、支えられながら育つものと思う。
- ・少人数での勉強は先生方はもちろん、生徒一人一人も意欲に欠けるし、これからの西和賀には必ずしも、若い人達もいなくなる事ですし、真剣に考えて頂きたいと思います。
- ・少子化にともない、町の財政状況から見ると保育所は民営化にするのが当然の事で小学校は統廃合して町内2校にしなければ持ちこたえる事が出来ぬと考えられる。既存の考え方を切り換える必要が重要であると思う。将来を見通した考えを持つ必要があり、子供達の住み良い環境をととのえてやるのが現在の私共にかせられた重要な問題点であると認識すべきであります。大胆な発想の転換と思いきった執行に御期待しております。
- ・各地区1校でもよいが、生徒自身、比較、競争、頑張りの意識がなくなると思う。
- ・多方面においていろいろ問題はありますが、現状維持を強く希望致します。
- ・出来得る限り早く名目統合し、充分準備を整えた上で実質的統合をなす。校舎は距離的な中心に。
- ・統廃合によって学力も向上すると思うし、スポーツも競争心が出て来ると思う。子供達に井のなかのかわずにならないように統廃合した方が良いと思う。

#### 長瀬野区

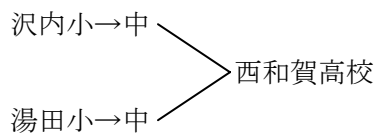
- ・適正配置を考えるのであればやはり中心部になってしまうと思う。4校を一つには難しいと思いますが、2校あるいは3校への統廃合は必要だと思う。運動会やスポ少など少ない人数でやっている姿を見ると、とてもかわいそうに思う。
- ・将来的に子供が増える見込みがないのだから早めに統合した方がよいと思う。
- ・家族のような関係で勉強するのも大切ですが大勢の中で競い合うのもまた大切ではないかと思う。
- ・猿橋小学校が良いと思う。
- ・小学校と中学校が近い場所にあればよいと思う。
- ・住民の声を大事にすることは大切なことだが教育行政をどの様に形づくって行くのか、の方針を出すことが先ず必要でないか。反対の声多数の場合、果たして現状を維持できるだろうか。
- ・子供の声がないと寂しいものですね。テレビや新聞でさわがれているいじめや、自殺、親の気持ちを思うと慰めの言葉も出てこないと思います。西和賀町ではおきてほしくないことですね。保育所、小学校、中学校と統合するのでしたら一小の所だとそういうこともおこらないのでは？冬場は18年度のような年ですと通学が大変でしょうけどそのこともよろしく願います。

- ・今よりも生徒数の減少となるのを予測してみると統合はやむをえないことと考えます。
- ・統廃合になっても猿小を使ってほしい、立派なグラウンドを残してほしい。
- ・湯本小学校・猿橋小学校
- ・小学校、中学校、高校（保育園）から一箇所？
- ・少人数による教育も良いと思うがある程度の人数での教育でなければ学校行事などもままならないと思う。統廃合によって確保されるのであれば、やはり必要なのだと思う。通学のことを考えると気になりますが、複数の送迎を分担するより少数の送迎経路方がより良いと思う。
- ・平成 24 年以降子供の人数が不明なので仕方がないが、少しの人数で存続も何か方法はないのか。人口 1 万人以上との公約からみたら方法がありそうなもの。どうなっているか。
- ・年々子供の数が減っているのが現実ですが、統廃合はしなくて良いです。あと何年かこのままで、(10 年位は) どうしても子供の数が少なくなって大変というときにまた考えればよいと思います。
- ・小学校は歩いて通える範囲が理想だが、ある程度人数がいないと、放課後の子供の遊びも少なくなり、人とのつながりが学べなくなる。昔は、学校の帰り道でお友達と遊び皆で仲良くすることを学んだ。家での母との接触も大切。統合しても、バスで個別に家に帰すのではなく、勉強の後それぞれの集落の近くの学校で一度降ろし、一時間でも子供だけで遊ばせるのもいいのではないか。学校は勉強して知識を入れるところと同時に人とのつながりを学ぶところでもある。生徒が全校で 30~40 人になったら、統合するしかないと思うが、生徒をバスで通学させるとしても、その前後に友達同士遊べるように工夫してほしい。運動会や学芸会も一緒にした方がいい、親同士のつながりも昔のように深くしたいものである。

## 泉沢区

- ・いじめ問題に関するアンケートはいかがでしょうか。子供のいじめ、大人の生活いじめ問題です。湯本地区又は、大野地区です。
- ・湯田、沢内地区に複数校を設けても、押し寄せる少子化、過疎化を阻止する事は、まず困難であり、いずれ行政を圧迫する要因となる事が予測される。従って長期的な視野にたって当初から町内 1 校とすべきである。
- ・児童数増の見込みがないとすれば、統合設置はやむを得ないと思います。通学方法を充分考慮し乍ら町民の納得の上ですすめてほしい。そのためには、年度は遅れても仕方がありません。統合によって空き校舎ができるわけなので町内の不登校生徒、児童対策に活用すべきかと思います。楽しめる教材を用意して指導してみたらどうかと思っています。(ボランティアでも対応できるよう)
- ・湯田地区、沢内地区それぞれ地域の中心部で、現在ある施設を充分活かすことを考えたらいいと思います。
- ・子供が少なく統合して、複合をなくすること。スクールバスの利用が必要。
- ・子供達が少なくなっていくなか地域に学校がなくなるのはとってもさみしいです。できるだけ残してもらえたらいいなあと思います。
- ・小、中一環教育を望む。更には、高校までそのまま進めれば良いと思う。その為には、

今ある西和賀高校を存続させ、さらに高校での修得科目等をより魅力的なものにし、



となれば非常に好ましいと思う。

- ・湯田地区 川尻小  
沢内地区 猿橋小
- ・何と言っても、生徒数によって限られてくると思います。これに関しては、全国的なことだと思います。
- ・なるべくなら統合はしたくない。でもこのような人数では統合せざるをえないだろう。むかし我々の小学校時代は1学級で40人近くもいたものだ。大勢なもんだから何をやるにも楽しかった。現在は、少人数だからさびしく感ずる。統合と決まったらなんぼでも早い時期にするように。
- ・統合した場合の校舎等の利用をどうするか？
- ・子が少なくなっているので、しかたがないと思います。バス通学が出来るので……。
- ・適正配置から言えば全体で一校でも数的には少ない方ですが地理的面等を考えると地区一校が妥当ではないでしょうか。そしてよく地域と話し合いなるべく地域の中心に設置すべきと思います。具体的に言えば湯田は川尻地区、沢内は猿橋地区と、そして予算もないことでしょうかから、現在の学校を改築することにより態勢が整う物と思います。
- ・少子高齢化がますます進むと思います。本来は地区に学校存続が望ましいことですが、一学校全校で30人以下では財政的にも大変無駄な人件費になります。沢内二校とも思いますが、長い目で将来を展望した場合昔とちがってスクールバスで通学できますので湯田一校、沢内一校を両地区の中心的な場所に設置、現校舎でいいと思います。全体のアンケートで場所を決めたらいいと思います。地理的、環境的ないい場所にしてもらいたいです。

#### 弁天区

- ・財政が許せば出来るだけ早い方が良くと思う
- ・学区はあまり広範囲にならない方が良くと思うが、経済的、予算的な問題も有り、広く町民のコンセンサスを得て方向性をさぐった方が良くと思う。
- ・現在の子供に対して当らずさわらずの教育では忍耐力と思いやりのある将来は望めません。ある程度の体罰を含め教師の強固な姿勢が必要と思います。もちろん家庭での親子さんにも問題があると思いますけれど……。
- ・現状では統廃合は必要ないと思うが時代の流れで児童数が減ったりしたら考えなければならぬのか。
- ・合併前に充分議論すべき問題であった。先送りせず、果敢に進めて欲しい。統合することにより役場庁舎も自然と解決し、建築費用も解決される。北上市を含めた通学体系を検討してほしい。
- ・地域内に学校があると住民も関心を持ち続けるが、遠くの学校になってしまうと住民の関心もなくなり、子ども達への思いや、さまざまな配慮が薄くなっていく。

## 猿橋区

- 子供のいない私が答えるのもなんですが、これだけは言わせてもらいたい。町の経費節約でやるのは反対です。西和賀の大地で育て心豊かな社会人を育て、結いの心を持った人が大人になってふるさとを思う人になればよいと思うし、それが合併した目的でもあると思う。大変重要な問題でもあるので地域での話し合いも必要なことでもあり、まずは、どのようにやるか、社会的に言えば、基本理念みたいなものを作り、それから行動方針を決めるとかしてとにかく時間をたっぷりかけ現在在学中の父兄も含め話を聞く事が大切だと思う。
- 地域の活性化のため地域で子供たちを育てていくためにも学校は各地域に残していきたい。小規模校での教育はいろいろ課題もあると思うが、指導法の工夫で解決していけるでしょう。むしろ効果も大と思う。
- 現在児童数から見ての統廃合の必要を認めないとするもので今後の状況によっては統廃合が考えざるを得ない状態も考慮する。
- 生徒数、児童数を学校配置の基本とするのではなく通学時間、距離などの生徒、児童の、就学負担を基本に考える配置であってほしい。であるから、学校は町内一校であっても校舎（教室）は現在の状況を守ってほしい。
- 適正配置の名の元に統廃合を繰り返し結局は「いじめ」という図式はもうあきました。
- 心情的には統廃合は寂しく思いますが、現実から見ればやむおえないと思います。
- 統廃合には地域住民の理解を得るには、簡単なことではないと思いますが将来的な展望にたって思い切って、湯田地区、沢内地区、各一校とし、しかも一年でも早く実施し教育効果を上げていくべきと思う。それがいずれは子供のため財政面でもいろいろ良い点が現れてくると思います。本気になって検討されることを期待します。
- 現在の子供たちの通学時、下校時に関して声をかけても知らん振りをして挨拶の出来ない子供たちが多。「知らない人に声をかけられても返事をするな」という今日ではあるが、地元の間を知らない子供たちはいないはず。学校での教育のあり方、また家での教育の問題等。
- 沢内の中間をとって猿橋小学校。湯田は湯本小学校。
- 少数の小学校では生徒たちもいろんな経験も出来ないような気がする。中学校と同じくスクールバスなどを活用したほうが・・・
- 学校教育は勉学の向上と同時に人間教育の場でもあると思う。これを大切に。最低でも条件を整理し長の財政なども考え効果のある学校環境を創る。全体として（長、地域）負担の少ないこと、安全を第一にすえ、出来るだけ早い統合を望む。廃校の学校については、高齢性にとまなう施設を考え有効に使う計画を樹立。
- 適正配置といっても必ず反対が出るとしますので、地域 PTA そして通学している子供たちの考えを聴いていってほしい。子供の学力が低下につながらないようにしてほしい。大人の考えだけで決めないでほしいし、なかなか全体で賛成はないでしょうけどよく考えてほしいと思います。
- 旧湯田、沢内各 2 校が理想と思うが現在の 6 年間の表を作成されて、実数を判断するに、やむを得ず各 1 校が望ましい。バス運行を削り学校は少なくしたほうが今後間違いない。

学級に生徒数の少ないのは教育上問題がある。人間づくりは集団の中で育たなければいけないと思う、個々では良い品は出来ない。

- ・統廃合になれば、なくなった地域は住民のよりどころをなくし、とてもさみしくなり、寂れていくと思う。しかし人数的にみれば、子供たちの心身の成長のため統廃合はいたしかたない選択だと思う。低学年の通学が負担になったり、どこに設置するかが大きな問題になると思いますが、地域のしがらみから離れて子供たちにとって一番いい方法を探ったり保護者、住民の意見を丁寧に聞いて方向付けをしてほしい。
- ・話し合いの場を持たれることがあると思われませんが、家庭、学校、町当局が三位一体となり進め、子供の環境にとって一番良い方法を考えていくことが不可欠だと思います。
- ・統合すると通うのが生徒の足でも体力的に問題があると思うので今使っているスクールバスをまた利用していく必要があると考える。

## 太田区

- ・小学校は西和賀町に1校にして車代は町で持って欲しい。個人で持つのは統合は反対です。場所は農協本所付近にして頂きたい。
- ・統合する場合はスクールバスが必要
- ・その時代にあった考え方で実行してほしいです。
- ・地域が広いので登下校の時間的準備、クラブ活動の親の送迎等、旧町村2校でも大変な事と思うが、当局の最善な行政を期待して全町4校
- ・地域にとって学校があるという事は、大変に大切な事で子供達の健全な育成には最も必要な事と思えます。しかしながら少子化の中で子供達が、豊かな情操を育み、競争をさせ、団体活動も出来る環境は、学校の統合しか考えられません。現実に中学校が町内に二校しかない現在、小学校も二校とし、近い将来、幼児（就学前児童）から中学校まで一貫した施設で教育をする事が望ましいと考えます。西和賀町を愛し福祉を大事にする心豊かな教育を進めて行く事が大切と考えます。
- ・近年子供がすごく少なくなってきて1校に対しての生徒の数が少なくて色々な行事も1校ではきびしくなっていると思います。たしかに少ない生徒数で子供達1人1人に目がとどきやすいとは思いますが、大人になり広い世の中にも出る事になるので湯田、沢内地区である程度の人数にしかならないので、ある程度の人数の学校数でもいいと思います。スクールバスもあるのに数人ずつしか乗らないバスが行ったり来たり。今は昔の様に雪も多くなく、少なくなってきているし除雪も今はきれいにしてもらっているので可能だと思います。学校も無理に作るのではなく今ある学校を利用する事も可能だと思います。少人数すぎる学校が近くにたくさんあるのもどうかと思うのですが？
- ・湯田 134/6 ≒ 23人 1学年  
沢内 166/6 ≒ 28人 1学年
- ・両地区中学校近くが良いと思う。(スクールバス関係から)
- ・地元に着した先生を配置してほしい。
- ・なるべく大人数の中でいろんな経験をさせた方が子供たちのためになると思います。私には子供がおられませんので分からないままアンケートに答えましたが、小学校ではどう考えているのか、現場の声もどんどん聞いたほうが良いと思います。

- ・人数だけで考えると、全体で1つということにもなる位ですが、通学や地域的な関わりも含めある程度の広い範囲がよいと思います。交通の便は、スクールバスもあるのでもっと利用できると思いますが・・・。
  - ・現在子ども達がおかれている社会環境を考えると、いくら西和賀町といえども、昔の様な安心して安全に小学校生活を送れる環境ではないと思う。その中でも、西和賀町の小学校では他地域の小学校に比べ不登校やいじめの問題は少ないと思っている。このことは、まだ小学校や子供達に対する地域の Safety netが崩壊していない現われであると思う。地域が学校や子供達を大事にしようとする気持が強い現在（いま）無理に統廃合する必要はないのでは。
  - ・通学キョリと通学手段のケアをあつく！子供は多くにぎわうことは、理くつ抜きに必要と思う。⇒ただし、強引な統廃合は避けて、議論（対象者等）をしっかりと欲しい。
  - ・地区の意見を聞けば学校のある地域は、おそらく反対の意見が多く出てくると思う。行政がある程度、主導権をもって進めるべき。子供たちの競争心などを養うためには、ある程度、規模を大きくする事が必要と思う。未来のある子どもたちのために、より良い選択を切に望みます。
  - ・アンケートですが人が特定されるアンケートだと思しますので、意見が書きにくいのではないのでしょうか。（子どもの数ばかりでなく、就学状況まで確認しているので・・・）
  - ・川尻小 湯本小 中学校。 第一小・猿小 川舟・貝沢小 中学校
  - ・今は、住所的な所で学区が決められているようだが、私の友人などを見ていると、距離的には、この小学校が近いのに学区の規定により遠い小学校に行っていた人達がありました。今西和賀町となって人口も少なくなっている現状から見ても、学区をなくしてその人達に近い小学校か、今まで通りの学区の小学校に行くかの選択の機会をあたえても良いのではないのでしょうか？のちのち、統廃合が進んで行くであろう西和賀町、次世代の子供達に幸あれー
  - ・少ない人数のクラスで教えられる事は、どの子にも目が向けられて良い事とは思いますが、私達の年代では、50数人クラスが、10クラス（学年毎に）という多い人数でしたが、曲がりもせず、皆、真面目に育ったものです。多ぜいの子供同志が磨き合って、生活する事を教える事も、良い事ではないのでしょうか。町村合併で、世の中がだんだん荒んで行くような時期に子供達には、元気良く友達を沢山作って行ってもらいたいものと思います。まして親が、もっとしっかりしなくては・・・と思う最近です。
  - ・スクールバスは、県交通で運行してはと思います。又一般の人も乗れるように。
  - ・生徒の人数に対応出来るスクールバスが有る。ある程度のクラスメートが居る事により学ぶ事が有ると思う。
  - ・残念なことであるが、仕方のないことだと思う。スクールバスを使い、人数を多くして（学年ごとの）お互いに、みがきあう人が多くないと子どもたちのためにならない。
- 早急な統廃合が必要と思う。理由として、①教職員のリストラにより健全な財政負担に資する事。②生徒、児童数の減少により集団学習の効果がうすれつつある事。③廃校になった校舎を多目的に利用出来るとするなら、高齢者福祉施設等への転用により将来不足する施設の新、増設をしなくても済む事。

- ・将来を見すえて1校、町の中心に建設。財政等でむずかしい場合は、現在の学校を生かし、湯田、沢内地区に1校。
- ・地域住民の理解を得た上で、できるだけ早急な統合が望まれる。学習指導（小規模校）の上で多少の利点、問題点はある。今後の児童数推移を見ると、年々減少している。教育には適正規模があり、少なくとも複式学級だけは解消し、学習環境の充実を図りたい。
- ・なるべく早い方が良いと思います。スクールバス、教員のじんけん費がむだ。油代などがむだ。
- ・湯田地区 川尻小、湯本小 沢内地区 第一小、猿橋小、川舟小
- ・少子化が進んで行く中ではありますが、財政事情だけで統廃合を判断することは拙速すぎると思います。子供達の教育は、子供自身の立場にたった物の見方、考え方が非常に大事であると考えます。交通手段さえ都合が整えば、統合は大丈夫だと考えているとしたら疑問があります。子供は地域の宝であるし、厳しさの中にも大事に育てていく工夫をしてほしいと思います。
- ・児童へのより良い環境整備が必要だと思う。
- ・小規模校は複式学級、職務の分担等つらい面もあると思うが、児童、生徒に遠距離通学をさせることは避けたいものである。

#### 鍵飯区

- ・私が育った頃は人数が多く勉強の出切る人、目立つ人、先生のえこひいきもあったと思いますが私などは学校に行くのは、家に居ると何か手伝わされるから仕方なく学校へ行く、そして鉛筆を削って遊んで一日を過ごす毎日でした。今は子供一人一人がじっくり先生の話も聞けるし発表なども堂々とできる。私から見れば夢の様です。あの頃私も勉強ができたら？と考えてしまいますが・・・子供が少なくないからと言って、ひとまとめにして、その建物をどうするつもりなのでしょう。お金のむだ使いになるのでは？せめて学校ぐらいいは今ある地区に残してほしい。子供達の声が聞かれなくなるのはとてもさみしいこと。
- ・小規模なりのメリットがあると思う。・1人1人に目が届くA学力向上（授業）Bいじめ（生活） ・地区住民との繋がりが密になる。但し人数的には限度があると思う。
- ・町内全部を1つにするというのには、距離的に無理があると思います。各2校位でまとめれば、それほど通学時間にも影響はないかと思います。なぜ統合した方がいいのかは、1クラス2人や3人などの学年が出てくれば、なかなか集団で学ぶことが難しいのではないかと思います。第一小は全校で約100人位いますが、他は半分以下なので、全校でも100人位になるように統合してもいいのではないかと思います。スクールバスを利用していけば少し遠くても可能だと思います。
- ・今の状態でも遠いと思っているのに（スクールバスを使用して）スクールバスに乗れなくて暗くて危険な所を一人週一度ではあるが徒歩で帰ってくる事がある。統合されて今の所ではなくなると親の送迎が難しいので、今の、現状を維持して欲しい。もし統合するのであれば子供達の安全をじゅうぶんに考えた上でやって欲しい。

#### 前郷区

- ・町村合併を機にすぐにでも統廃合すべきである。地域に学校がないと活性化されないとはいろいろ理屈があるようだが、それは大人のエゴでしかない。左草、下前の例は無駄使いの典型である。子供は大勢の中で切磋琢磨してこそ社会に通用する大人になる。大人のエゴで子供の教育を考えてはいけない。又、何のために合併したのか！財政危機を乗り越えるためであるはず。経費節減に聖域を設けてはいけない。
- ・活気のある学校にしたい。少人数では無理だと思う。先生方も少ないと忙しそうなので、先生方の配置人数を考えた統合が良いのではないのでしょうか。
- ・アンケートについて、少子化されている時に、問題がありますが時代により、出来るだけ合併をし、教育を強めることが今後必要と思いましたが元沢内の場合は一ヶ所とし、今の時代はバス利用も出来ると存じますので私は、学校一ヶ所なくしたら、経費などかなりのちがいが有ると思います。町民がどう思うか知りませんが、一ヶ所にして教育を高めることをのぞみます。以上
- ・小規模の良さもあると思います。しかし、現状を見ると子供達の人数や、町の経済的な状況を含めて考えると、統合する方法しかないような気がします。さみしさもありますが。
- ・今後、子供が増えるようでもないので、早めに統合した方がいいと思う。スクールバスも沢一小で多く使っているの、統合で湯田に1台使ってもらってもいいのでは？沢一小も児童数が少なくなっているの1台でまわったらどうかと思うところもある。たくさん意見を聞いて、いい方法をみつけてほしいです。
- ・1人1人に目が行きとどき、集中力もあると思います。(少人数だと)
- ・住民への説明を含め、十分に準備し理解を得てから進めるべき。
- ・年々少子化が進み児童数が減る一方ですので、町の財政上また、児童の教育についても適当な児童の数の方が、子供達によいのではないかと思います。
- ・今の時代は、私達と違って、時代とでも云うのか子供達の気持もあらくなる。昔と違ってすなおさがないし、又親達も(みえ)とでも云うか教育が違って見える。これからは、先生の目の届くような人数で勉強にと思う。
- ・少子化と云う時代の流れに依る学校統廃合、逆らえぬ現実である。そして無念である。流されることを知りながら棹を差すことも無益かもしれない。学校は歴史的に地域にあって文化の殿堂としてその役割を果たして来た。そのことは時代の変遷の中であっても不変であると思う。学校が無くなる→地域が崩壊する→地域が無くなるでは何の為の統廃合かが問われる。このことを教育行政に携わる方々、学校関係者の方々はしっかりと認識してほしい。地域利害を超えた政治抜きの公正な判断に立って執行してほしい。
- ・統廃合は、おとな達の経済的な考え方であって、健やかな成長、充実した教育をめざす、地域に根ざした教育と考えると今のままで良い様に思う。地区の学校でもあるから。
- ・統合になった場合の不便さの方が強いと思います。学校迄の距離とか、色々考えた場合、現状のままで十分だと思います。無理にまとめようとする方が、無理だと思うのですが
- ・現在の小学校の授業がどのようなかたちで行なわれているか、把握していないが、音楽や体育の授業等は、月(週)に何時間か他校と合同で実施するなど、統廃合に関らず交流授業の様なものがあればより良いのではないかと思います。

- ・いずれは、問5③にし、バスで通学する事にならざるをえないと思いますが、段々に廃校にした方が良いと思います。1（貝沢小・川舟小・猿橋小）、2第一小、1（越中畑小・川尻小）、2湯本小
- ・私共の所は、子供がおりませので、よくわからないのですが、よく考えてお願いしたいと思います。
- ・単に児童数で判断するのではなく、学力向上や健全育成など直接的に子どもに与える影響と一方では地域コミュニティに与える影響を慎重に見極める必要があるのではないかと。学校がなくなった地域は、ほぼ例外なく廃れ、地域コミュニティが衰退し、結果として地域の教育力が失われてしまうという現実もきちんと検証しておくべきである。
- ・学校の統廃合だけ取り上げればやはり統合すべきだと思いますが、西和賀町全体を考えた場合、若い人が働き、生活出来る職場が必要と思われます。西和賀町を若がえらせたいと思う気持でいっぱいです。ぜひそのような方向にも考えて頂きたいと思います。

### 新町区

- ・早急に統合していただきたい。現状でも1クラスの児童数が少なすぎると感じている。また、1学年に複数のクラスがある方がクラス替えなどで新鮮な空気を取り込めるのでさらに理想的。また、運動会、水泳大会、学習発表会も一回ずつですむので子供の負担が減る。各地区1校ずつ、2校にしてはいけない。子供の数が少ないのだから思い切って西和賀町に1校の小学校にすべきだ。地区に学校がなくなるのはさびしいかもしれませんが、それは大人のため。子供のために1校に統合してください。
  - ・小さい単位が配慮が行き届くし西和賀町の合併で事例は十分。
  - ・統合になれば建物の経費が少なくできる。子供同士部落別の意識がなくなる。
  - ・今までどおりだと一番距離的にもいいとは思いますが、人数の減少の伴いを考えると統合の方向を考えざるをえないと思われます。統合になったときはスクールバスの回数を多くし遠くの人でも安心して通学できるように希望します。
  - ・統廃合すれば通学状況が大きく変わると思います。親の負担にならないように、スクールバスの充実等を考える必要があると思う。未来の西和賀を担う人材なのだから、最大限の行政としての努力を期待します。
  - ・全てを中央に集めることも疑問です。人口の少ない所がなくても良いといわんばかり、気に入りません。同じ日本人なら公平な政治を祈るのみです。
- 
- ・児童数減は本当に残念なことです。公共施設がなければ地域が衰退していくようですので、南北に長い地形ですので湯田地区2校、沢内地区3校が理想的と判断した。また、若者が定住できるように就労の場、住宅等も整備するのも同時進行の方策が必要と思われます。数字だけに惑わされないように。
  - ・子供たちの通学の利便性、廃校になった校舎の有効利用、地域の子供会の充実等・・・自分の母校がなくなるのは残念だが時代のながれ、いたしかたないのか。ちなみに私の入学した学校は小・中・高どれも名前がなくなりました。
  - ・小規模校だと競争意識が薄れる。経費の無駄が多い。川舟地区1校、新町太田地区1校、川尻地区1校、湯本地区1校が望ましい。

- ・児童数から統合はやむをえないと考える。
- ・地域のよりどころとして学校の役割は大変大きいと思います。しかし、今後児童数が減少し続けると学級の役割が維持できなくなったり、集団的学習が組めなくなるなど、子供たちのために不利な面が多くなるのが心配です。統廃合はできるだけ最小限にして子供たちの時間的・体力的な負担を少なくしなければならないと思います。
- ・学者のような専門家を育てるより人間性豊かな人材をめざしたい。
- ・今の教育制度がそのまま続くかどうか不明なのですが・・・現状では高校より別学区の学校に行く子供も多数います。少人数から多人数の中へ入る訳で個人の性格もあることと思いますが環境に慣れるのに時間がかかり、なじめないままということも考えられます。どちらも長・短所あると思いますが、なじめないまま3年過ごしたわが子を見てきた親としてはこんなことがないようにしていきたいなと思いました。
- ・今後の児童数を考えると、統廃合は避けられないのかもしれませんが、これ以上小学校区が広域になっていいのかは疑問です。地域から学校がなくなってしまう、という観点から考えるとデメリットの方が多いように感じます。さまざまな視点から住民の意向を踏まえた上で進めるべきものと考えます。十分な討議の上での結論を願います。
- ・地域として学校の存在は大きいが子供の少なくなる状況の中、学校での「複式学級」が増えていくことを考えると子供たちのためにも人数のある程度ある学校で多くを学べる場をと考えた時、これからは統廃合を急ぐべきと思います。
- ・廃校による地域の活性がなくなることが心配だから
- ・将来を見据えて適正な判断をしなければ、今テレビで話題になっている夕張市のような状態になるかもしれないので関係機関の努力をお願いします。
- ・西和賀農協本所の場所に学校（1校）
- ・近くに学校があれば便利なのはたしかです。でも人数を考えると、統廃合は仕方のないことでしょう。適正配置の目的を明確にして、検討を進めてほしいと思います。
- ・少子化が進む中、統廃合は必要であると思います。でもその前に、子供を産みやすい、育てやすい環境づくりの協力も続けてほしいです。特に若夫婦の働く場所作りまた、盛岡、北上へも通勤可能であることを考えると、工場の規模拡大の話もあるのでUターンを誘うこともできるかとも思います。山村留学などはかなり町民の努力も必要ですが、一つの方法として考える価値もあるのでは、と思います。
- ・現在中学校では生徒数の減少から、部活が思うようにできなかつたり、廃部となつたりしている。部活は中学生にとって、とても大切なものだと思う。これ以上廃部とならないようにするためには、統合は必要だと思う。
- ・小規模校の利点と問題点を読んで、発想を逆にできないものかと考えた。小規模校のよさを統合した場合も生かすようにできないものですか。西和賀らしい教育を継続できるように、指導をお願いいたします。地域も協力して子供たちと接したいと思う。統合は必要と考える。
- ・子供の通学、勉学が無理なく出来る環境を整えてほしい。
- ・小規模校の良さや教育効果にはすばらしいものがあるが、それとて同一学年に複数の子が在籍することが必要。平成22年度には旧沢内地区の2校で入学生が一人という予測の

上で、子供たちへ社会性の発達や発達段階に応じた教育活動（性差も含めて）コミュニケーション能力の向上等を保障してあげることは難しい。やがて成長し、社会の中でたくましく生きていく子供たち一人ひとりの未来を考えてあげたとき地区単位でなく町全体のものとしての未来の財産を育む観点で議論が大切。統合はすべきだが登下校の面（所要時間、手段、区分け）での検討も必要。地区感情や思いを超えた大人の社会教育、町としての一体感の高揚も必要と思います。

#### 大野区

- ・ 少子高齢化に伴う統廃合は、自然現象と思います。教育は大事ですが、都会では学校選択制度で廃校になっている番組を見ました。行政地域と一帯となって就学児童を守って行きます。
- ・ もっと具体的な資料がないと判断できない。いきなり問5・6では答えようがないのではないか、統合が必要と思うが問題点やメリットを示して判断させるようにしてほしい。
- ・ 小規模校だと先生が一人一人に接する機会が多く保護者も学校とのコミュニケーションがとれて良いと思うが中学、高校と進級する上では、やはり集団での生活に慣れる事も必要だと思う。隣近所に同じ年頃の友達がいなかった場合は学校で沢山の友達を作って遊び学ぶことが育成につながると思います。
- ・ 子供がすくなくなりつつあるので、いずれ、沢内1校にまとめていけばいいと思う。
- ・ 学区では今のところ統合は必要ないと思うのですが、他の学校の児童数やこれからの子供の数等を考えると学区も含め統廃合は必要なのかと思います。何校にするか、時期等は適当な数が選べなかったかと思います。
- ・ そもそも適正という言葉がよろしくないのでは？何か結論ありきのスタートでは考え方としてかたよってしまうのではないのでしょうか。
- ・ 子供達を第一に将来のことを考えなければならないと思う。
- ・ 人口1万人を目指す振興策の具体化と同時に配置計画を考えてみたいもの
- ・ 年々子どもの数がへっていきはさびしいことです。最終的には町全体で1校となる日も来るかと思いますが、子供達のために1番良い結果が出る様がんばってもらいたいです。

#### 東大野区

- ・ 廃校にすると淋しい気もしますが、今の沢内の小学生には、運動面でも学習面でも友達と競い合うという気持ちが少ない様に思います。野球もポジション争いというのをしないので、練習に身がはいらないと聞きました。少人数の学校で目のゆき届いた授業、学校生活も大切なことではありますが、やはりある程度の人数で競い合うということも子供達には大切ではないかなと思います。
- ・ 今、さまざまいじめ問題があり、統合すればするほど先生たちの目がとどかず、トラブルからいじめが深刻化すると思うので、まずは今までどおりの学校の数でいいと思う。
- ・ 地域振興も大切であるが、子供達が多種多様な経験できる規模が必要と考える。登校に一考が必要。
- ・ 学校が統廃合してなくなれば、地域みんなが、さみしくなると思う。
- ・ 統廃合により先に人口を増やす施策が必要と思う。

- ・出来れば近い小学校に入りたいです。

#### 左草区

- ・将来の西和賀町を担う子どもたちの環境（児童の適正配置）を整備するのが先決です。老人福祉にお金をかけるのも大事ですが、今こそ、学校建設を視野に入れて真剣に考える時期と思います。
- ・第一段階 21年度から各2校にし、第二段階 25年度から各1校にすべし。
- ・登校する距離、時間は大変になると思いますが、スクールバスの運行を工夫してカバーできると思います。

#### 下前区

- ・小学校だけでなく中学校も考えた方が良くと思う。
- ・子供の出生数が減って来ますので、いずれは統合が必要と思われると思いますが、その時期については学区の中でPTA、地区民が十分に議論し、納得の上で行うべきだと思います。
- ・人口減を見ても、やむをえないと思う。50年で7分の1にまでなっているが、世帯数はそんなに減ってないと思う。通学が大変になるがスクールバスを増やして対応出来る考える。以上
- ・子供は少ないより沢山の子どもたちの中で、いい面もそしてそうでない部分も含めお互いにえいきょうしあい、きたえあい育った方がよいと思います。登下校に感じていることなのですが安全に問題なく行えるのであればまして言うことはありません。この町だけに限ったことではありませんので合併したこともあるからには思い切った今後のあり方を行ってほしいです。
- ・学校があるということが、地域の最低条件かと思います。
- ・それぞれ、み力ある学校にしてはどうですか。
- ・バスの運行をお願い致します。
- ・スクールバスの送迎をお願いします。
- ・小学生の場合統合しない方がよいと思います。

#### 湯田区

- ・スクールバスで
- ・保育園から高校まで一貫校にしまえば、いいのではないのでしょうか？
- ・小学校適正配置等の改革にとどまらず、議員を含めた町職員の削減、病院建設の見直し等、できるだけ支出を減らし、将来に負の財産を残さないようにしてほしい。
- ・統合によって子供達に元気、明るさ、やる気が出ると思います。小人数より良いと思います。
- ・統合は必要であるが、湯田1校、沢内1校に答えましたが、沢内は大野から貝沢間の距離があるので通学の問題が出て来ると思う。湯田地区も同じか？ バスか？
- ・各（湯田・沢内）中学校の敷地内に配置してみてもどうでしょうか。
- ・統合する場合、新校舎を建設するのではなく、地区内の校舎の中で一番新しい校舎を利用してほしい。
- ・小規模校はそれなりに、生徒1人1人がのびのび学べる良さがありますが、やはり同級生も多少多い方が、子ども達はライバル意識を培うことができるのではないかと思います。

ます。学年で2人とか5人とか、学級単位ですらスポーツの対戦もできずにいますので、これを機に統合し、通学時間はかかるかもしれませんが、友達を増やしていく方向に進めた方が・・・と思います。担当の方々、ご苦労様です。よろしくお願いします。

- ・湯本、川尻、一小、猿橋あたりにあるといいと思います。
- ・保育園～高校生までみんながのれるバスの運行もあわせて考えていってほしいです。
- ・左草、下前、柳沢などが統合したが、何故遅れているのか。貝沢小もしかり。30人学級が適切だと云われる昨今、文部省基準に近づけてはどうか。折角アンケートをとっても公表なしでは意味がないので、広報などでその結果を分かり易く公表してほしい。統合委員会は、名称ばかりでなく、統合すると云う観点で、徹底的に議論、討議をすること。
- ・75Kの和賀川と湯本小は一校となっても残したいとおもっていた。
- ・現実に「スクールバス」が運行されております。主要道路の最も近いバス停等を利用し、通学出来るシステムを作成し、3年間位の検討の後実施する。現行の路線バス利用を含めた『スクールバス化』が必要。
- ・小規模校の利点もあると思うが、少子化時代の今たくさんの友達とふれあって楽しい学校生活を送ってほしい。自分のやりたいスポーツ（野球・サッカー）などが、人数が足りないために出来ないのは、かわいそうなことだと思う!!
- ・湯田地区は、湯本小学校において、中学校は今の場所で、高校と光寿苑が子供教育面ばかりでなく、地域がなり立っている様に、保育園、病院等いつまでも消える事のない町で有ります様に。
- ・湯本小学校としては100年以上にもなっている。伝統のある学校としていずれ生徒さんが少なくとも、このままで残して行きたい気持です。
- ・統合したら、通学するのに大変だと思う。
- ・子供が減ってるのはわかりますが、学校がなくなるのはさみしいです。このままでいいのではないか。
- ・学区のエリアが大きすぎるので、現状維持が良いと考える。(小学生の低学年生の負担が大きい)
- ・今はこのままでいいと思うが、いつかは統廃合しなければいけないと思う。その時は、湯田地区、沢内地区でわけなくてもよいのではないのでしょうか。
- ・現在の湯本小学校としては必要ないと思っているが、将来はどうしても統合が必要となってくると思う。しかし、学校は地域の「力」の源です。子供達の声、姿が身近に感じられることが、我々に対する影響は大きいものです。又、このアンケートとは別ですが、空いている教室を地域に開放できないのでしょうか。地域の交流の場のひとつとして利用できればと思います。
- ・できればこの学校も徒歩で通える環境が望ましいと思います。
- ・小さな学校は少ない人数なりの良い所が、いっぱいあると思います。
- ・団体ですること（運動会、発表会）を合同でしたりして、授業、校舎は別のほうがいい。
- ・現状配置でもピカッと輝く教育が成りたつ。いじめ不登校もなく児童の個性を生かした指導ができる。学習発表会、運動会など各種行事は合同で実施すれば交流も生まれる。

学校のなくなった地区は集落全体の活気がなくなると思う（過去の例から）。

- ・学校は地域のよりどころでもあり。できれば残してほしい。
- ・現状と見通しを示して、アンケートをとるべきではと思います。
- ・西和賀の将来をきめる大事を○×とか右か左かの様なきめ方をされたら西和賀の子供達だけでなく将来の町造りにも影響する。町民全体で話し合いを重ね良く考えるべきだと思う。

#### 湯本区

- ・旧湯田・沢内の今ある比較的新しい小学校を使う。後々、西和賀町全体で1校となる可能性もあると思うので新しく建てるのはそれからでも良いと思う。
- ・各一校とするにも湯田沢内同時にしなくともよいと思う。当然ながら通学の不便は伴うと思うが統廃合でより良い充実した教育を受けられることが第一条件通学は二の次に工夫すればよいと思う。廃校でその学校の伝統的行事を失うことは残念に思うが、これだって統合地で工夫すれば継続は可能である。9月5日付けで、教育委員会で全戸に配布なされました「新しい西和賀町を拓く子供たちのために」このタイトルでよいのだ。適正配置検討委員会を立ち上げることは結構だが私たちのような大人の思う地域の学校とは教育現場である反面、地域住民の交流の場でもあった意識が強いもので心配だから委員選考に注意してください。少子化社会は国民一人ひとりの責任ですから今の子供を育てる意味でも教育委員会のスタッフ諸君よ、今が実力を発揮するチャンスと思ってがんばってください。
- ・少人数の学級では、利点より問題点の方が多いと思われる。利点としては、きめこまやかな個別指導に徹することができますが、欠点としては音楽・体育等多くの人数を必要とする教科の学習ができないことです。私は学校とは関係がなくなりましたが、もし小学生のいる親であったら、やはり人数の沢山いる学校に転校させ多くのよき友達を作り仲間同士切磋琢磨させ、好きなクラブ（体育）で存分に活躍させて、心身ともに成長してもらいたい。
- ・車両の問題がある
- ・今の人数であれば、現在のままの方が適正ではないかと思いますが、今後少子化の流れの中では人数に応じて統廃合を考える必要があると思う。
- ・今後ますます財政難のため大改革が必要だ。
- ・学校は長い歴史的な流れの中で、その地域のシンボルとして育まれてきたものであることから単なる少子化の流れの中での議論にならない配慮が必要であると思う。教育的効果もそれぞれデメリットがあることから一方的な効果を強調することなく子供たちや地域が共生できる観点からの議論を望む。
- ・越中畑小学校を川尻小に統合する。猿橋小・川舟小・貝沢小の3校を統合する。
- ・地域に学校がなくなるとするのは地域の衰退にもなるので何とか避けたいが、児童数の推移をみると仕方ないこととも思える。しかし、西和賀町の広さから考えると通学距離が遠すぎるような気がするので、普段の学習は近くの学校で、というわけにはいかないのでしょうか。あと、実際に越中畑小、貝沢小等統廃合の対象となっている地区の小学生とその親（地域の人には反対するに決まっているので）に、本当の気持ちを聞いてみたら

どうでしょうか。

- ・小規模校の利点と問題点を読んで考えさせられます。子供たちが成長していく上で利点と問題点について、常に背中合わせの面があると思います。正と負の部分が離れないのです。子供たちが成長して、高校生、大学生、社会人になって、人口の多い都市に行った場合その中で生き抜く競争の精神に押しつぶされないか心配です。教育者（先生）の指導の仕方では子供は変わります。学校の存続、統廃合も大切なことですが、指導する先生のモラル、哲学、情熱にも関心を持っています。最初は湯田・沢内に一つずつ、最後は西和賀町に一校がいいと思います。
- ・増える要素がないと思うので早急に統合を進めるべき。たとえば越中畑小を川尻小へ。貝沢小と猿橋小を川舟小へ。
- ・統廃合姿勢と数を多くし充実した教育を受けさせるため、先生も生徒も意気の上がるような学校になってほしい。
- ・中高一貫教育を考えてもらいたい。
- ・はたして適正は何を基準において適正というのかわかりませんが、行革の一環として、当然取り組まなければならないテーマですので、関係者の熱心な討議を期待します。地域的なものもあるので、一概にはむずかしいでしょう。
- ・小規模校の利点は現実的に実行できていない。むしろ問題点が目立つここ10年だったと感じている。広域となる学区ではあるが、スクールバスを増発し、安全で親にも子供にも負担の少ない登校システムをつくってあげてほしい。また、指導に当たる先生については、この地域の子供たちを熱い情熱をもって、長期にわたり関わる医師と優れた指導力、豊かな人間性のあるかたにきていただけるよう「先生集め」にも工夫と努力してもらいたい。
- ・猿橋小・川舟小・貝沢小を一校に、越中畑と川尻を統合
- ・沢内は太田、湯田は川尻が適当と思う
- ・小学校の統廃合は難しい問題です。地域から子供の様子が見えなくなることは、とてもさびしいことだからです。でも、親の立場この立場を考えると子供に多くの人とのかかわりを持って協調性・積極的な気持ちそして我慢も身につけてもらいたい気持ちがあるので統廃合を望む意見になりました。地域のこともとても大事です。でも次の世代に生きる子供たちのことを考えると子供たちの将来を思うと・・・自然に統廃合がいいと思う。
- ・学校を少なくしてスクールバスを多くして送迎した方がいい。学童保育所を部落ごとにあればなおいいと思う。
- ・私は小学校時代県南一のマンモス校といわれる小学校に通っていた。一学年が200人前後だったように思う。なので、少人数の学校がどのようなものか、よくわからない。クラス替えのたびに知らない人と友達になり、他のクラスにも友達がいて、さらにその友達の友達とも仲良くなれて、多くの人と触れ合うことができた。できれば自分の子供にも多くの人と触れ合う機会を与えたいと思う。ただ、各地区1校や、町全体で1校となると、小中で9年間同じ仲間ということもあり、安心感もあるが、それ以上に今問題となっているいじめの被害者に自分の子供がなったら、と考えると、不安の方が大きい。

できれば、中学校でも知らない人、新しい仲間と知り合う機会があれば少しは違ってくるのかと思う。

- 人数が少ないから学べるということのもたくさんあるとは思いますが、やはりたくさん集まった中で生活、学習して上へと進んでいく方が、一人ひとり成長できたり、個性が出てくると思う。スクールバス等有効に利用したら良いのではないのでしょうか。
- 現状のままでよい
- 私の小学校時代に比べると1クラスが半分以下となっておりますが、学校生活、学習面において、担任の先生の指導が行き届いているように思われる。極端に生徒数が少ない場合は、統合はできるだけしてほしくないような気もします。もし統合して現在の学校でなく川尻小学校に行くことになったら、登下校の心配や地域の人たちとの関わり合い等が減ったりするなどが出てくるようなので、いろいろ大変だと思いますが、このままでがんばってほしいです。
- 湯田地区2校、沢内地区2校で21年度から統合し、将来は各1校にしたほうがよいと思うしそうならなければやっていけないと思う。各1校では未だ無理と思う。昔のことを言えば全体で1校でも未だ少なくないくらいだ。ちなみに私たちは66名でも1学年1教室だった。昔の高等科2年まで合計600人近い生徒がいた。

#### 槻沢区

- 早急に取り組むべきと思う。
- 未婚の若者があって今後の町の人口が心配されます。最近になって育児休業が会社でも実施してるようなので評価する。厳しい環境の西和賀ですが企業の誘致に意を注ぎ若者の就職場確保に全力を尽くしてほしい。家に男と女の二人の孫がいるが高校を卒業して北上市に就職している。西和賀高校は私たちが方々独立校になった学校に研修に行き、やっと独立校にまでこぎつけた。おかげで子供たちも高等教育を受けやすことができ感謝している。小学校と同時に西高存続にも力を尽くしてください。
- 通学とか大変だと思いますが統廃合を進めたほうがよいと思います。
- 湯田地区は湯本に配置、沢内地区は猿橋に配置
- 運動会や学習発表会などは、人数が多いほうがよいように思いますので、そういった行事は湯田地区全体、沢内地区全体と大きく二つに分けて行うなどの方法もあってよいように思います。子供が少ない=PTAの人数も少ないという事で、親側の負担も大きくなってきているように思います。そして共働きも増えているように思います。統廃合は避けたいものの避けられないように思います。
- 学校と地域のつながりが薄くなると思う。
- 行政しだいだと思う。

#### 湯之沢区

- 湯本学区内の教職員であいさつをしない人がいます。
- 一地区1校となれば配置場所が問題、各地域で綱引きになる心配あり。中学校が川尻地区にあるので出来れば小学校は湯本地区にあればよいが。
- 1学年20~30人クラスで2クラス以上ぐらいの数の中で、もまれた方が子供にとってよいのでは？また、統廃合となればスクールバスが全町内を廻ることになるので全町

1校も2校も効率は同じだと思うし、子供は西和賀は一つの意識を知らず知らずの内にもてると思う。

- ・現在1人暮らしで詳しく記入できません。子供達も小学校、高校とお世話になり、地元をはなれています。申し訳ありません。
- ・明らかに子ども達の人数が少ないんだから、各1校ずつで十分と思います。中学校だって各1校ずつでずーとやってきてるんだから、小学校も各1校ずつでいいんじゃないんですが。1学年数人しかいないんだし少人数でいい事もあるとは思いますが、色々学校運営にもお金だっかかるんだから、子ども達だって人数が多い方が楽しいんじゃないですか。
- ・アンケート、むずかしいことだろうと思います。失礼。

### 川尻一区

- ・現在、それぞれの小学校には、何人ずつ在学しており、3年後、4年後、5年後は、何人ずつになるかもしれないという、予測の数字がわからなければ、いかげんなアンケートになってしまわないか？
- ・学校の統合は早くて21年度からでなく、早急に統合すべきである。今後の児童数の予測表を見ても分かる通りである。学力の向上からしても、とにかく一日も早く……。文武両道の学校教育を実現するためにも、モサクサしないでテキパキと処理すること。
- ・子供の数が減っていけば、やはり統廃合も仕方がないと思う。団体でなければできない事もあるので、人数が少しでも多い方が良いのでは……。もちろん登下校の不便などの問題もでてくると思うが、子供間のふれあいは多い方が良いと思う。それ以外に子供がふえるような対策も必要だと思います。
- ・多分、私と同じ考えの方が大半をしめるとは思いますが、それだけで決定すべきでは勿論ないと思います。どうぞ他の方の意見もよく聞き、検討をしていただきたいと思います。
- ・本当は③の湯田地区、沢内地区各1校とする方に賛成ですが、一度に1校ずつは大変だと思って②にしました。
- ・沢内の場合は、新町小学校が適正配置と考えます。湯田の場合は、川尻小学校が適正配置と考えます。
- ・速やかに統廃合すべきと思います。
- ・統廃合にはスクールバスが一番の問題点と思われる。バス運行を医療機関への輸送バスと一体で考慮する必要がある。
- ・若い世代の人達が働く場所がなければ、子供は増えることはないと思う。ぜひ、働く場所をつくってほしい。北上のベッドタウンとしても考えていかなければ、一万人への町民増はむずかしいのではないのでしょうか。一学級の子供の数を少なくして若い人々が住んでみたいと思える、この学校に子供を入れたと思われる特色のある学校づくりをお願いしたい。統廃合ばかりにとらわれなくて、特色のある学校づくりをしてほしい。
- ・小規模校の利点を最大限に生かした上で、問題を克服するには、各小学校間の交流を頻繁に行なうことが1つの解決策かな、と思います。①クラブ活動や音楽などの発表会を他の学校に行ってあるいは合同で行う。②1つのテーマでの話し合いについて他の学校と一緒に討論する。③学校同志の競争という形ではなく、2校以上合わせて団体競争な

どを計画する。④子供たちが進んで、他の学校の子供たちと交流できるような形を工夫する。遊びでも何でも良いと思う。

- ・通学の遠距離、交通機関を考える。廃校舎の将来的利用を考える。
- ・湯田地区は当面、湯本と川尻と2つが良い。しかし、両校とも複式学級が増えた段階では1校でもよい。沢内は遠距離ということがあり、沢一小、猿橋小、川舟小の3校でいくのがよい。学校が減って、さびしいという気持はわかるが、児童数の減少から統合はやむをえないと思う。子ども同志の切磋琢磨のため、統合してほしい。中学校は、2校ではありあって、がんばってもらいたい。将来、生徒数が減りクラブもろくにできない状況になったら、町内を1つの中学校でもよい。やはり中学校は、ある程度の人数を確保しないと生徒がかわいそうである。
- ・沢内地区はわからないので、湯田地区として越中畑を川尻に統合する。
- ・先生は子供に対して見とどけが出来ると思う。したがって、子供も家族も安心して学校に通う事が出来ると思う。又学校としても家庭の事、いじめに関する事もいち早くわかるのではないのでしょうか。
- ・積雪の多い所ですからスクールバスを緻密に運行するべきと思います。
- ・今のところ、統合の必要はないと思います。

#### 川尻二区

- ・湯田、沢内各1校を地区中心あたりの現在ある学校をつかい、スクールバスを出した方がよいと思う。少人数で良いこともあるが、将来いずれ1校にしなければいけないと思うので、早めの方がいいと思う。
- ・西和賀町の現状からすると、統廃合は急務と思われます。効率的な学校運営を望むものです。
- ・旧湯田町は川尻と湯本 旧沢内村は沢一小と川舟
- ・学校の統廃合は反対ですが、小人数で勉強や運動するより大勢の中で、キソイ合う方がよいと思うのでやむをえないと思う。学校の統廃合だけでなく、役場内の機構改革や人数減も進めてほしい。役場は人数も多いのに残業もしている。北上信金は3年前からノー残業見ならうべき、6時には皆帰るよ。
- ・少人数で先生の目が行き届く今の環境もいいと思いますが、クラスでドッジボールもできない状態の学校もあります。私は関東の学校で5年間勉強し、6年生の時に湯田の小学校に転校してきましたが、女子8人、男子8人のクラスではやはりやれることも限りがあり、中学にあがってもそのメンバーでかたまり行動していました。スポーツ1つとってもせめてバレーやソフトボール、野球くらいはやらせてやりたいです。通学がほとんどバスになるのは、体力づくりにはマイナスになると思いますが、友達を増やすいい機会だと思います。小学5、6年ともなると、少人数校では目立ち、のびのびと行動できない気もします。しかし、湯田地区、沢内地区内で小学校があるのはいいことだと思うので、町内1校には賛成できないです。
- ・現在のままだと年々児童が減少している中で複式、複々式の学級が増えてくると思うから。

- ・原則的には統廃合に賛成できないが、生徒数の減少で止むを得ないと思う。但し、条件は有ります。宝物の子供達に2軒も3軒も歩かせないようスクールバス（小さい車でもよい毎日遊んでいるジジイに委託する等）を運行する事。
  - ・あまり少数だと、子供達もなんにも出来ないと思うので、出来ればいっぱいの中での生活が良いと思う。のびのびと楽しくやっていけるのではないのでしょうか。孫が5人もいるけど西和賀にはいないので残念です。
  - ・湯田地区について、現在三校少人数なので、早く一校にしてもらいたい。川尻小と越中畑の統合という話がありましたが、それよりも一層のこと湯本、川尻、越中畑を一つにして湯本小が一番新しい学校（築年数）なので湯本小にバスで子供達の送迎をしてもらいたい。経済的なことから、バスのガソリン代と三校のそれぞれの冬の暖房費を比べても、ずっとバスの方が安くいくと思います。六年生の修学旅行も三校一緒に行ってるし、中学生になれば、いずれ一緒になるのだから、早く小学校も一緒になって欲しい。一つの学年の人数が少なくて、三十人三十一脚にも出れない。
  - ・旧湯田町の中心と、旧沢内村の中心に各一校ずつ。
  - ・適正な人員で運営してほしいので2校とした。
  - ・子供の生活のリズムを第一に考えてあげたいです。個性を伸ばす今のシステムを残して欲しい。人数が増える事により、楽しみや少々の苦しみをコミュニケーションの中で経験させたい。今の先生とのつながりの強さを残してほしい。
  - ・スポーツでのチーム編成が出来ることが望ましい。
  - ・町財政と今後の子供達の教育等を考える場合、小学校だけではなく中学校（町内1校）も検討していただきたい。
  - ・住所に湯田を入れるべきだった。沢内を入れているように・・・・。
- 西和賀町湯田字川尻○—○—○
- ・地域の人の気持ちも分からないではないが、子供の事を考えてほしい。
  - ・学校の場所は、湯田地区は川尻、沢内地区は猿橋か太田
  - ・湯田地区は川尻小、湯本小、2校で良い。
  - ・現行の校舎をそのまま使用し、通学にはスクールバスを有効活用してほしい。
  - ・統合は子ども達1人ひとりのものですから、財政的な理由でおこなうものではないと思います。21世紀の尊き宝物です。あとで問題がおこらないように、責任感をもって検討していただきますようお願いします。
  - ・統合は子どもたちのために行うものであり、大人たちや財政的な面から行うものではありません。教育百年の大計にたって責任をもって検討してほしい。設問6はそのときに結論がでます。町村合併のように、あとでごたごたは困ります。アンケートの集計結果は広報で知らせてほしい。
  - ・現状（子供の数等）を把握しないと校数などの適正な判断ができませんが、小学校は集団生活から学ぶべき事が多いと思うので、ある程度的人数が確保できないと小学校生活の意義が半減してしまうのではないかと危惧致します。教職員や校舎の管理にかかる費用等考えても統廃合が必要であると思います。
  - ・明らかに子ども達的人数が少ないんだから、各1校ずつで十分と思います。中学校だっ

て各1校ずつでずつとやってきているんだから、小学校も各1校ずつでいいのでは、ないんですか。1学年数人しかいないんだし、少人数でいい事もあるとは思いますが・・・!! いろいろ学校運営にも、お金だっかかるんだから、子ども達だっ人数が多い方が楽しいんじゃないですか。

- ・各々1校でも良いと思いますが、急激な事態は考慮したい。
- ・少子化対策を行政が具体的に住民に説明するべきである。

(例) 育児支援金など 第1子 月額 30,000円  
第2子 〃 40,000円  
第3子 〃 50,000円

- ・我が家には来年小学校入学予定の子供がおります。保育園で一緒に仲良く遊んでいたお友達が自分とは別の学校に入学予定なので少々寂しいようです。1学年の入学児童が、10人にも満たない現在の状況で、わざわざ学校を存続させる必要はないと思います。たとえ合併しても、小規模校には変わらないのですから、今からできるだけ沢山のお友達と学校で勉強できる方が子供達にとっても良いのではないのでしょうか。町はスクールバスを出す等、色々がんばってもらって(良い案を出して)是非早急に合併をお願いしたいです。
- ・このままでは、あまりにも少人数で可哀想な気がします。子供たちに、たくさんの友達と色々な経験をさせてあげたいと願います。授業や行事等、少人数では出来る事が制限されてしまうのは残念なことだと思います。子供たちのためにも、是非統合してほしいと思います。これからの若い人たちにも、影響することだと思うので、これ以上、人口減少しないようにしていかななくてはいけないと思います。登下校が少々遠くなくても仕方ないかと思ひますし、スクールバスを運行する必要もあると思ひます。
- ・統廃合は絶対必要である。このままでは夕張市のようになると思ひ。
- ・湯田の場合は、川尻小に越中畑小が入り、湯本小とで2校とし、沢内は第一小に猿橋小が入り、川舟小に貝沢小が入って、湯田、沢内とも各2校が最も適していると思ひ。
- ・小学校の同級生の数も少なく、クラスで一緒に遊ぶ友達が少ないので、上か下の学年の子と遊ぶ事しかできない状況です。このまま寂しい学校生活をさせるのは、親として本当にかわいそうだと思ひています。できるだけ早急な統合を心から願ひています。充実した学校生活を本当に毎日楽しく送るために、絶対に統合が必要だと思ひます。子供達の幸せのために、1日も早い統合を心から願ひ、希望しますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。
- ・少子高齢化、人口の減少化と西和賀町は衰退の一途をたどっています。全て今までと同じ環境を保てるはずはない。すこしでも長く西和賀を存続するためには学校問題だけでなく、全てにおいて経費削減を考えてほしい。そして更には産業開発(無理?)をしてほしい。新しい施設はもう無理です。できるだけ今あるものを大事に上手に利用してほしい。
- ・湯田区は、今まで通り。沢内区は、太田と川舟で良いと思ひます。
- ・私には子供無い為何も分かりません。
- ・住民は、現在の俸で良いと思ひますが、町の財政状況並びに上部(国、県等)の圧力によっ

て統合又は廃校にされるのでないか先ずそれ等を先に住民に説明されたい。

- ・ 少人数校では、授業内容等がかぎられてしまうが、学校の数が減り、自分の住んでいる地区になくなってしまうのは子供たちの元気な笑顔を見たり、元気な声を聞くことができなくなり非常にさみしくなる。できることならこのままの体制でお願いしたいものである。
- ・ 小学校を統廃合する事は地域の崩壊につながると考えます。
- ・ 児童数の推移からみてまだまだ統合は早いと思う。10年は大丈夫。
- ・ 特に無し。うまい事やって下さい。
- ・ 統廃合を検討する場合、地域の活性化を云々する方がいますが、それは大人社会の発想であり、子供達の教育についてどうなのか・・・という点で考えなければならないと思う。まず、教育について子供達にとっては、友達関係、人数的な量の適正な事が大切であり、教師との関係も生徒数が少なければベストで良好と云うものでもないと思う。時には、大人の過剰な自分に向けられる注意力がプレッシャーにもなる。子供達にとりある程度の人数の中でワアワアやりながら切磋琢磨していく事は大切。もう一点は通学手段の問題。距離の長さ（年齢別に12才迄だから）、安全性、災害時の父母家庭との連絡等を考慮した送迎の可能性、授業時間の差（1年生～6年生）を考慮し、一括送迎の問題について思いをめぐらしていく事が大切と思う。（可能性の範囲）

### 川尻三区

- ・ 各学校の一学年の人数が少なく、複式学級となっているので、複式学級をなくすために（その方が子供にとってはよいと思う）統廃合した方がよいと思います。適正人数が20人となっているので、そこまでいなくてもせめて10人はいた方がよいと思います。
- ・ 小規模校であっても諸々の利点があると思いますが、最低でも7学級以上の規模が適正かと思う。地域から学校がなくなる事は、地域住民にとって言葉には言い表せない淋しさと、地域崩壊を憂慮するところであり、廃校舎の活用方法、財政面では夕張市の二の舞とならない為にも学区民との充分なるコミュニケーションを望む。統合について湯田地区・沢内地区各1校が妥当と考えますが、統合にあたり地区の中心地であるとか、人口の多い地区といったことは選定外であり、建物の規模・耐用年数・グラウンド・施設等の整備状況を主体に考えるべきと思う。
- ・ 小規模校となれば教育が行き届き、すこやかに児童が育まれることは承知だが、やはり現実には厳しい。また、統合した場合児童間の競争意欲が低下しあらゆる面での意識低下につながる。一方小規模校の場合、団体生活（特にスポーツ面）が制限され児童のスポーツに対する向上心が閉ざされる恐れがある。しかし、合併という現実を見るにこのまちの教育状況では、統合も止むなしと思う。早急に2校とは出来ないとしても、就学年に合わせて将来は2校と云わざるを得ない。
- ・ 小学校の適正配置は、早期に実施すべきです。
- ・ 地元で学校を残したい気持ちはわかるが、少人数では何をすることも物足りないので早く統合してほしい。川尻小学校と一緒にになると学力が下がる等と言う大人の意見も聞かえてきましたが、個人の意見ではなく、町全体を考えてほしい。
- ・ 小人数の学校よりも多人数の学校の方が人間性が成長し、社会に適応できる大人になっ

て行くのではないかと思われる。また、小学校がなくなると地区の活性化が心配されますが、町づくりでそれをカバーして行く事が大切と思われます。

- ・川尻小 湯本小 猿橋小 川舟小
- ・早ければ早いほど、統廃合すべきだと考えます。田舎で、老人が多くなる西和賀町に子の人数も少なくなるのは目に見えていますし、いじめの事も考えて、全体で1つにするのではなく、逃げ道も作っておくべきじゃないかと考えます。それより、いじめについてアンケート考えたらどうですか？世間で毎日のように報道されているんですからいじめに力を入れて下さい。田舎だからとか人数少ないから、いじめがないという考えならば間違いですよ。必ず、学校にはいじめがありますよ。湯田中の知人の子供の事、色々聞いています。自殺してしまったらどうしますか？しっかりと、いじめについて話し合ってください。
- ・複式学級までは仕方がないと思うが、複々式学級発生の時点での統廃合はやむをえないことだと思う。
- ・統廃合はやはり必要だと思う。母校がなくなるのはイヤだという人もいるが、子供が少なくなっているという現実ではしかたがない。経費の面においても統廃合した方がムダがない。早急に行なうべきではないかと考える。
- ・小学校の統廃合には常に「地域エゴ」が出て来ます。西和賀町がどんな町になるべきか、住民として真摯に考えた場合、西和賀全体で1校で良いのではないかと思います。年々児童数の減少が進む事がわかりきっており、今が決断の時期と考えます。
- ・今は子供が居ないけれども、これからの事を考えられます。
- ・その学校の生徒数が減ったから、あるいはこれからも増える見込みがないからというだけの統合だとしたらなんか釈然としないものを感じます。人数が少なくてもまだつかえる学校、あるいは子ども達に適した環境下にある地域もあると思います。そのようなことも視野に入れ何校かにしぼり、親の選択で自分の子ども（子どもの意見も聞きながら）が元気で楽しく通える学校を決めたらいいなーとも思います。少人数の学校があつたり多人数の学校があつたりもいいと思いますし、少ないところでも多いところと自由に行き来が（交流）できたらそんなこともいいと思います。統合に賛成、反対で決めてしまうのではなく、どうしたら西和賀の子どもたちのためになるか、もっとみんなで意見を出し合うべきと考えます。西和賀独自の考えできめるものがあつてもいいと思います。（本当に子どもたちのことを考えるのであれば・・・）
- ・学校がなくなることによって地域の文化の中心が失われるのではないのでしょうか。小学校ぐらひはその地域の文化の中で育ててほしい。中学校になると統合されるのですから・・・。財政不足ということで町村合併したが何のメリットもありません。学校統合も子供が少ないからといって安易にするのではなく、もっと子供のことを考えてほしいと思います。
- ・出来るなら今までどうりの方がいいのですが。
- ・良くわからない。
- ・少しの子供たちで、先生の目がとどくようにしてほしいです。
- ・小、中学校の皆あいさつがとてもいいです。これからも続けてください。
- ・小学校も中学校も生徒数が少ないので、共通する学校行事、例えば運動会等一緒に行な

ったらかなり盛り上がるのではないかと思います。子供達にとっても何か得るものがあると思うのですが如何でしょうか。色々工夫して、良い教育が出来るのではないかと思います。統合しますと、子供達の通学時間が長くなる事や、地域の衰退に拍車がかかる事が想像されますので、反対です。

- ・今さら何を考えてこのアンケートを出したのか、理解ができません。どんなに少子化になっても母校はなくしたくありません。以上!!

#### 耳取区

- ・統合により、より充実した教育活動ができる設備や教員の増（いろいろな技能を持った教員）により今まで以上の効果が生まれてくると思う。
- ・就学児童数をもとにした教育システムの整備も良い教育の一つの要素だが、資料にもあるようにどんなシステムもやはり一長一短だ。それに対してシステムに関わらず子供の人格的成熟に不可欠なものは第一に良い親良い家庭、第2に良い師良い友といった「人」であると思う。家庭・学校・町という子供に関わる人々の「関わり方の質の向上」のためにも是非力を注いでいただきたいと思う。そうすればここ西和賀町の豊かな自然環境は「過疎」という負の遺産ではなく、どんな将来にも強く生き抜いていく「グローバル・ローカル」な人格を育む豊かな森になると信じている。
- ・あまりにも統合してしまうといい意味での競争意識がなくなると思う。それぞれの実態に合った教育があってもいいと思うので全町1校～2校では子供に負担が生じてくると思う（通学等）それが親にも出てくると思う。
- ・子供たちが少ない現状では仕方がない。親の感情だけで決めるのではなく、子供たちの将来を考えてほしい。その前に町の職員を減らしてください。

#### 草井沢区

- ・〇〇年以前に、政治政策の完成は教育改革の完成時点で一段落という言葉が聞かれた時期がある。当時時の流れの後を追って教育改革がなされてきたとみている。一文部省の対応が遅いという声が高まった時代・・・今も同じような気がしてきている。当時の教育についての教師の考え？教育とは A 一般型→教え育てるという考えの教師。 B 創造型→育つことを教えるという考えの教師。AB 選択によって、子供たちの生き様の現われが異なってくる。①総合的に（?的に）豊かな教師がほしい。（草の根活動のできる方）②子供を育てるならまず親を育てなければ良くなる（子供を耕せる様な心豊かな親）③五日制の教育改革のあやまりができてきているような感じ。④教育現場、日常生活の中で心の耕しが不十分か？これが充実していくと「いじめ」がでてこない。
- ・現況がわからないので意見を申し上げかねますが申し上げたいことは子供たちの教育に支障がないように取り組んでいただきたい。

#### 鷺之巣区

- ・30人学級が望ましいと思う。
- ・私の小学時代は分校でしたし、中学は1村2校であった。当時は交通手段のないときでしたが、今は湯田地区各1校でも充分対応可能でしょう。統合の場合は、現校舎の利用でよく、統合にかこつけて新築等は考えないでほしい。教職員の配置は基準にとらわれることなく、十分な配置を取り入れてほしいものだ。問5のような湯田地区・沢内地区

の区分の考え方ではなくして西和賀町全体として、学区分を考えてほしい。

- ・ 沢内は湯田地区より人数は多いと思いますが、湯田町は川尻 1 校で良いと思います。
- ・ 現在当地区本屋敷、ワシノスには小学生は居ませんが、自分達の子供の通学には中学生に上がれば早朝 6 K 近くを自転車で行き J R で、帰宅は暗くなり時には迎えに、親の心配は大変だった。統廃合に通学方法の安全を願います。
- ・ 初めに統廃合あり（これを適正配置と言い換えるやましき）の議論ありき。問題点などあがっているが、年月をかけてきちんと検証されているのか、競争させればいいのか、その意識はいつも是なのか。現在の教育基本法をもう一度読み直すことで、そしてそれを実行することで、よい教育の場をつくっているのではないのでしょうか。それと当事者の意見を聞くべきではないのでしょうか。以上

### 湯川区

- ・ 川尻小学校は是非残して欲しい。
- ・ スケールメリットを考えると、一町一校が理想だと思います。各学区の地域感情が統合を疎外していると思われるので一校にした方が、わだかまりがないと思います。スクールバスがあるので通学にも効率的だと思います。高校まで考えても、その方が特色ある西和賀の教育につながると思います。
- ・ 湯田地区 → 川尻  
沢内地区 → 太田
- ・ 統廃合は学級の適正からしても生徒数減少の中ではやむを得ないと思うが、合併や統廃合は、全体が小さくなる過程のマイナスの施策と思われる。この地域が活力ある継続的な地域である為に、人口減に歯止めをかけるべき施策や、将来展望が私達に伝わらない事が、何より悲しく、このアンケート自体がむなしく思えます。
- ・ 質問の意味を示すべき。

### 小繫沢区

- ・ 地域から学校がなくなるということは大変なこと。昨晚（11/22）東京都内の小学校がなくなっていったことのテレビ放送がありましたが、過疎の地では地域がさみしくなるからとばかり言えないと思う。子供たちのためと思って考えて行くべきかと。大勢の中での子供たちのあり方がよい様に思います。適正配置となると難しいですが、少人数での学校はなくなっても仕方がないと思います寂しいことですが。
- ・ 出来るだけ早い時期の統合を望みます。西和賀町になってもいまだ湯田沢内という何か見えない壁があるように思います。なかなかお互いにふれあう機会もないから余計にそう思うのかもしれません。人数が少ないと何をやるにも限られたものしか出来なくてとてもかわいそうです。
- ・ 地域感情にとらわれないでするべきと思う。学童が少ないからということよりも教育上の見地から必要であることの理解を説く努力を望みます。
- ・ ①町民への説明には 2 年間かけて理解してもらおう。今までの行政の説明態度では理解させることは不可能と思う。②集団生活の中で学習させることは必要だと思う。が、せめて町内でお互い（学校）言わせることはよいことだと思う。③通学に際しては通学方法、通学路はよく検討してほしい。（低学年、高学年のことも含めて）

- ・小規模校の利点を見ると一人ひとり目が届ききめ細やかな指導が出来るとありますが、確かによいことですが、教師にもそれぞれ個性が違うと思うので私の考えは西和賀全体で1校にしても決して多い数字ではありませんが、これでは少し範囲が広すぎると思いますので湯田沢内各一校ぐらいにしたら平等な教育が受けられると思います。
- ・少人数で学ぶことが悪いことではないと思いますが、やはり、スポーツをするにしろ勉強をするにしろ人数が多い方がお互い刺激もあり高めあうことが出来ると思います。また、小さいときから少しでも多くの人と（仲間と）接する中からいろいろなことを学ぶことが出来ると思います。また、友達もできやすいと思います。少人数で学び小学校から中学校へ入りまさに中1ギャップに悩んで、今はなんとか学校へ通っている子を近くでみていて特に感じます。少しでもたくさんの人と、小さいころから接するべきだと。

### 越中畑区

- ・統合は必要だと思いますが、地域に学校がなくなると住民の集まる（例えば運動会、発表会）場所がなくなり淋しく子供とのつながりもうすれて行く様な気がします。
- ・統合はやもえないかもしれないけど、地区の高齢者に寂しい感じで運動会、発表会たのしみがなく残念に思います。
- ・こども達が健やかに充実した子に成長できると思う。
- ・越中畑小学校の生徒は大変礼儀正しい生徒だと思っています。歩道で会うと「さようなら」と挨拶をします。  
挨拶は社会に出てから大きなその人の「人間性」を表します。宝だと思います。これは越中畑小学校の個性だと思います。この大事な個性をなくしたくないと思います。
- ・小学生は基本的に徒歩での通学が望ましいと思います。過疎地で適正規模を望むことは逃げ水を追う事と思います。
- ・各部落同志で集る事又話し合える事、学校があればこそ楽しみも有ります。年に1回の運動会又、文化祭と子供の頑張る姿を見て若さをもたらえます。学校が部落なくなる事は、本当に淋しい事です。出来れば、三年でも五年でも残ってほしいものです。
- ・子供の将来を考えるからこそ、今のままの存続を希望します。
- ・140余年の歴史ある地域の小学校は、地域の核として学校、先生方、児童、地域住民が一体となって協力し合いながら子供達を育ててきたことは大変重要なことと思います。地域で学校に対し、子供達に対しできることは沢山あり、現在も実践されていることが多数あります。私は子供達にとって小規模校だからといってマイナス面よりもメリットの方がはるかに多いのではと思います。是非小規模小学校も残すべきと願います。
- ・統廃合の前に分校として残す事はできないのでしょうか。
- ・現在の混沌とした社会状況、教育状況においては統廃合に是か非かということにどちらともいえない。子どものために何をしてやれるかということは大人の責任であるが、自分勝手な大人が多過ぎる。ほんとうに子どもの事を考えて決めて欲しい。でも「ほんとう」って何だろう？ ※設問が単純すぎる。

### 白木野区

- ・今回は単に小規模校の利点と問題点から答えました。地区の中で仲良く育っていくのもいいですが県外からのホームステイ等導入して視野の広い子供に育っていってこれれば

と思います。(地域の中では見知らぬ人は受け入れたくないという雰囲気を感じる)

- ・全小学校が1つに統合したとしてもクラス替えもできないような状況(少子化)に、町の未来に不安を感じます。旧山内村のように学校・保育園を一ヶ所に集めては？ 輸送問題等がクリアできるのならば、旧湯田・旧沢内と、こだわる必要はないと思います。
- ・拙速な統廃合は問題がある。当然児童が中心となった考えが必要であるが、一方、学区が主体となって学校を守って来たのも事実である。学区民が学校、教育に熱心である表れである。人口の多い所に統合をせまるのではなく、とりまく環境、とりわけ教育に感心度の高い地域に学校を設置すべきだと思う。同時に、廃校となる学校の跡地利用についても平行して考えるべきで、何年も放置しておかず、即、利用できるような体制を考えてほしい。
- ・各地域に小学校があるのは本来の姿、しかしながら児童数は減少している現状を見るといたしかたないかもしれません。地域、父母、児童が納得いくかたちで統合してほしい。決して強引な統合はしないでほしい。
- ・将来的には統廃合は避けられないと思う。その場合小学校は湯田、沢内各一校(当初)中学、高校は全町一校が適当でなかろうか。問題は廃校をどう活用するかが最大の焦点となるのでなかろうか。
- ・何の為、誰のために統廃合するのかわからない。地域の学校として生き残る道が必ずあるはず。統廃合を議論するのは時間の無駄、どうしたら生き残れるか、もっと知恵を絞り、考え抜けば何とかなる。ここは田舎だ、田舎は田舎として生き残れば良い。都会の論理を押しつけるのは、まっぴらごめんだ。こういう後ろ向きのアンケートはやめにしましょう。
- ・小規模校であれ、問題がない以上、統廃合する必要がない。都市中心的考えの競争心理のみを重視する必要があるとは思えない。教育とは、地域、学校、両親、子供が一体となって成りたつものであり、それを行なわれている学校においては必要がない。統廃合を行なわなくても、学校間の交流によって十分スポーツや団体的な行動は行なえると思う。部落から子供の行事等が消えることはさけない。小さな地域の歴史を子供達が大切にしてこそ、子供達が将来、その地域に根づくものと思う。今まで続いて来た地域の学校を大切にしたい。(父親44歳)
- ・学校の統合同んぬんより、いかに地域教育で人を思いやれる人間になり、それと共に学力もつけ、役に立つ学力を身につけていくこと、そういう人間の人材教育が地域の学校であり、人と人との絆でもあると思います。学力はつめこむものではなくやる気にさせるには、学校と家庭が協力しあっていくシステムをつくることだと思う。人を信じ合える環境こそ、子育てに大切なものと考えます。そういうことが出来ればすばらしい子供が育つものだと思う。
- ・統廃合し、スクールバスなどで児童の送迎を行なう様になれば子供等と地域の人達との交流が少なくなくなる。少人数校でも近くの学校に徒歩で通う事により、自然にふれて逞しい子供が育つから……。
- ・10年後位からは仕方がないかもしれませんが、今は現在のままで良いと思う。統廃合するとしても校舎の利用について充分検討して欲しいと思う。

- ・わかりません！
- ・全校複式移行の時期が適切かと思う。

### 野々宿区

- ・地域に学校がなくなるとその地域全体の活気がなくなる。いじめもないと思う。
- ・1小規模でも、対応により存続はできる。
  - ①教育費の予算については、GDP比で、日本の予算は先進国中低位に位置するといわれているので、予算がないながらも、未来を担う子供たちのため・日本の未来のためにも、確保すべし
  - ②小規模校では、生徒一人ひとりが行き届き、越中畑小学校では、成績の良い子が多い
  - ③アメリカでは、小、中、高とも、22人を最大とする学級編成で、生徒ひとり一人を先生が見れる体制になっており、現在、日本が目指している30人学級でも不十分、よって、小規模校でも、競争心を養う対応があれば、問題はないものと思う。また、いじめ等も事前に妨げるのでは

2小規模校の問題点は以下でクリアーできると思う。

  - ①競争心は兄弟が最初のライバル、これでも養え、ディベート力、コミュニケーションの育成も湯田沢内地区それぞれの地区単位でのスポーツ、学習の場を設ければクリアーできる。競争心の育成だけでなく、相手を思いやる心の育成も同時に大事だと思う。
  - ②クラブなどの活動は、湯田沢内をそれぞれの地区でのスポ少の活動でクリアーできる。またボーイスカウト・ガールスカウト等の活動で、サバイバル力、知恵をつけることもできるので、ぜひご検討を。以上で現在考えられる小規模校の問題点は解決できると考えます。
- ・湯田地区は現行のままでよいと思う
- ・問4は自分のところの学校への思いで書きましたが他はわかりません。質問が漠然でアンケート結果は意味があるか疑問です。
- ・早い時期の統廃合を希望する。子供たちの将来のために。
- ・今は兄弟が少ないし両親とも勤めていて昔より家庭内の子育てする力が弱っているように感じる。それを補うのが地域の力だと思います。それを合併によって子供を地域から離すのはますます子供の教育（社会性など）が弱くなるのではないかと心配されます。地域の変わりに学校にその力があれば別ですが今の学校や先生に期待するのは無理と思います。いじめ、自殺が多いのは家庭・地域での教育が不十分で学校まかせになっているからではないかと感じています。（もちろん、その他のたくさんの要因があると思います。格差社会などなど）
- ・子供たちが自分の足で通い、地域の人々に見守られながら学校生活を送るのは理想的なことだと思います。しかし確実に少子化は進んでおります。段階的に、一校減らし、2校減らしというやり方は反対ですが、将来に向けて計画的に進める方向が望ましいと思います。統廃合するためには、地区の理解、校舎についてなどたくさんの問題があると思うので、あせらず子供たちにとって最善な形に進んでほしいです。

### 柳沢区

- ・子供達がどうあるべきかを中心に検討して欲しい。地域に学校がなくなると地域がさび

れてしまうとかは別問題、現在の親達および将来親になる人の意見を中心に検討すべき。

- ・学校がなくなれば地区民はさびしいでしょうが、子供の将来を重点に進めるべきです。勇気を出して決断しましょう。
- ・行政が予算上の事から考えられていると思いますが、適正配置については何を元にして考えるべきかわかりません。学校は子供の教育を保障する為みたいな事を言っておる様ですが、言っておる事とやっておる事は全々合っておりませんね。最近私が思います事は、最近特にいじめの問題が毎日の様に言われておりますが、いじめられる子供の事だけ問題にして、いじめた子供については全々何もなく、対策が無いのでしょうか。

#### ぶなの園

- ・統廃合した時は、ちゃんとやってほしい。

#### 川尻区（学務課持参）

- ・ いっとき褒めて育てろ、のしつけの本が出てそういった雰囲気の中で育てられたのが今の中高生でしょうか。現実あまりにも簡単に自殺。そうした中、命の大切さの教育論が出て……。少子化が進む中、子供は大切に大切に育てられています。もちろんそれは大事なことなのですがしつけや社会的マナーまでもが軽んじられ命までもが軽いものになってしまっている現実にとっても残念な、何かが違うと思います。「藤の花」は傷めつけられなければきれいな花が咲かないそうです。子供も同じではないでしょうか。給食費不払い問題やレストランで食事をし、お水を運んでくれたウェイトレスにお礼を言った子供に対し「ありがとうなんて言わなくていいの！！お金払ってるんだから」という親。何かが狂ってしまってます。いじめられた！！いじめた！！子供同士の切磋琢磨がもっともっと必要と思います。人との関わりは人の中で学ぶものと思っています。子供、個々人は家庭で大切にされている西和賀です。たくましさを身につけていく上でも統合すべきと思っております。子育て後半の私たちのような者まで意見を吸い上げて下さるアンケートがあったことに感謝いたします。「子供は宝物です」地域みんなまで育てていきたいものです。